

Fukushima with a SMILE!

つながる東北



ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま
久慈設計は「Fukushima with a SMILE!」を通じて
福島県の魅力を発信していきます。

Oct.2025 Vol.82

福島県県中地方

福島県のほぼ中央に位置する県中（けんちゅう）地域は、阿武隈高地と奥羽山脈に囲まれ、阿武隈川が流れる自然豊かな土地です。清らかな水と恵まれた気候に育まれたこの地には、個性と伝統を受け継ぐ酒蔵が数多くあり、日々、質の高い酒造りが行われています。今回は、令和6酒造年度全国新酒鑑評会にて金賞を受賞した県中地域を代表する5つの魅力ある酒蔵とその銘柄を紹介します。



一 松崎酒造 天栄村

天栄村にある松崎酒造が醸す銘酒「廣戸川」は、清らかな伏流水と厳選された酒米を使い、丁寧な酒造りによって仕上げられています。口に含むと、上品な甘みときめ細かい酸味が広がり、穏やかな余韻が感じられる逸品です。その味わいは、まるで地元の豊かな風土を映し出すかのように温かみがあり、食中酒としても優れているため、和食はもちろん洋食との相性も抜群です。



住所：福島県岩瀬郡天栄村下松本要谷 47-1
HP：<https://matsuzakiszyuzo.com/>



二 笹の川酒造 郡山市

郡山市にある笹の川酒造は、創業約 260 年の歴史を誇る老舗酒造。伝統を守りながらも革新的な酒造りに取り組んでおり、令和6酒造年度の全国新酒鑑評会では、金賞受賞を果たしています。その代表作の一つが、大吟醸「明和蔵」。酒米「山田錦」を40%まで磨き、吟醸酵母で丁寧に仕込んだこの酒は、華やかな香りとまろやかな口当たりが魅力。ふくよかな甘みとコク深みのある苦みが調和し、特別な一杯としてふさわしい逸品です。

住所：福島県郡山市笹川 1 丁目 178
HP：<https://www.sasanokawa.co.jp/>



三 たに川(若関)酒造 郡山市

住所：福島県郡山市田村町谷田川町太田 113
(福島県郡山市久留米 2 丁目 98)

酒蔵「若関（わかぜき）」は、“若々しく、雄々しい酒蔵を目指す” という思いのもと、伝統と革新を大切に丁寧な酒造りを続けています。吟醸酒「さかみずき」は、万葉集に登場する「酒宴」を意味する古語に由来し、酒づくりへの崇高な志と和やかな宴の情景を映し出す一本。さわやかな香りと洗練された味わいで、多くの人々を魅了しています。



四 玄葉本店 田村市

住所：福島県田村市船引町船引北町通 41

田村市にある酒蔵「玄葉本店」は、福島県田村市で 200 年以上の歴史を誇る老舗蔵。小規模蔵ならではの丁寧な仕込作業で、お米本来の旨味を巧みに引き出しています。代表銘柄「あぶくま」は、蔵が阿武隈山系の中心にあることに由来。原料米は地元契約栽培米を中心に使用し、穏やかな吟醸香と雑味のないクリアな味わいの特徴です。全国新酒鑑評会では、本年で 15 回目の金賞に輝くなど、高い評価を受けています。



五 三春酒造 三春町

住所：福島県田村郡三春町中町 67
HP : <https://www.boki.co.jp/sake/>



三春町の三春酒造が醸す銘酒「三春駒(みはるごま)」は、三春の清らかな水と酒米「五百万石」を用い、杜氏・齋藤さんの熟練の技によって丁寧に仕上げられています。口に含めば、ふくよかな旨味とまろやかな甘みが広がり、程よい酸味が全体を引き締めるバランスの取れた味わい。冷やでも燗でも楽しめ、料理との相性も抜群です。三春の風土と杜氏の情熱が詰まった「三春駒」。その一杯には、地元の誇りと伝統が息づいています。

